

「フリーWi-Fi」を使うことの危険性

誰でも無料で利用できる「フリーWi-Fi」が、駅やコンビニ、カフェ、商業施設など、さまざまな場所で提供されています。日常的に利用しているという人が、みなさんの中にもいるのではないのでしょうか。外出先で通信料を気にせずインターネットを利用でき、とても便利な「フリーWi-Fi」ですが、その利用には危険もひそんでいます。

こんな「フリーWi-Fi」には要注意！

◆通信が暗号化されていない「フリーWi-Fi」

暗号化とは、データを第三者が解読できないように加工することで、情報の漏えいを防ぐ技術です。IDの横に鍵マーク「🔒」がついていなければ、その「フリーWi-Fi」は通信が暗号化されておらず、セキュリティが甘いと判断することができます。

◆悪意のある人物が設置した「野良Wi-Fi」

提供元が不明な「フリーWi-Fi」のことを、「野良Wi-Fi」といいます。「野良Wi-Fi」の中には、接続した人に被害を与えることを目的に、**お店などで提供されている「フリーWi-Fi」に似せたもの**があります。

上記のような「フリーWi-Fi」に接続すると、こんな被害にあう可能性が……

- ・メールやチャットの内容、サイトの閲覧履歴などの通信内容や、位置情報などを盗み見られる
- ・不正サイトに誘導されてウイルス感染し、機器に保存している個人情報や写真・動画などをコピーされ悪用される

被害にあう危険性を減らすために、このような対策を

- ・インターネット機器にセキュリティソフトを導入する
- ・提供元が不明な「フリーWi-Fi」は利用しない
- ・お店などで「フリーWi-Fi」を利用するときは、店内などにあるポスターやステッカーを確認し、正しいネットワーク名のものを選ぶ
- ・「フリーWi-Fi」に接続してインターネットを利用するときは、個人情報の入力が必要なサイト、アプリは使わない
- ・知らないあいだに提供元不明の「フリーWi-Fi」に接続してしまうことがあるので、Wi-Fiを使わないときは、インターネット機器のWi-Fi機能をオフしておく

「フリーWi-Fi」の利用には、危険がひそんでいます。もし利用する場合は、自身で危険性を減らすための対策を実践してください。